

第9回 上田市議会報告会

配布資料



令和元年10月7日(月) 上田市役所6階議場

午後7時 ~ 8時30分

上田市議会

目次

1	市議会のしくみ	2ページ
2	上田市議会議員名簿	4ページ
3	総務文教委員会活動報告	6ページ
4	産業水道委員会活動報告	8ページ
5	厚生委員会活動報告	10ページ
6	環境建設委員会活動報告	12ページ
7	広報広聴委員会活動報告	14ページ
8	議会運営委員会活動報告	16ページ
9	請願・陳情の審査状況	18ページ
10	平成30年度議会報告会でのご意見等	19ページ

表紙イラストの紹介

上田市議会では、身近で親しまれる議会広報紙とするために表紙デザイン(写真・イラスト)コンテストを開催しました。

表紙のイラストは特別賞(キャラクター賞)を受賞した「上田の神」です。市内の小学生が応募してくれたこの作品は、頭はリンゴ、肩にかけているのはみそ、胸には六文銭があり、上田の守り神キャラクターをイメージしたそうです。

市議会のしくみ

市議会とは、市民の直接選挙により選ばれた議員で構成されます。

市民全体を代表する機関として、市の最終的な意思を決定するとともに、執行機関を監視するという大切な役割を持っています。

市長をはじめとする「執行機関」は、よりよい市政運営のためにいろいろな施策を立案し実行します。これに対し、市議会は「議決機関」と呼ばれ、市長の立案した事柄について意見を述べ、審査及び議決し、最終的な上田市の意思を決定します。

市長と議員が、教育や福祉あるいは産業振興といった市民生活に関係ある事項について真剣に検討を行う市議会は、市民の声を行政に反映させる場であるといえます。

市議会議員

市議会議員は、住民全体の代表である非常勤の特別職公務員です。

市政の各種課題の解決に向けて市民の声をくみとり、これを市政に反映させる一方、市政の動きや議会の活動について市民に知らせる使命を帯びています。

議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙されます。議長は、議会の代表者であり、会議を円滑に運営するほか、議会全体の事務を処理するなどの権限を持っています。

副議長は、議長が病気などで職務をとれない場合に代行します。

会派

会派とは、同じような考えを持った議員の集まりで、議会活動において自分たちの考えを会派の意見としてより強く打ち出すことができます。

上田市議会は、国会と同様に会派制をとっており、3人以上の議員により会派を結成することができます。

本会議と委員会

議員全員が議場に集まって開く会議が本会議です。この本会議の議決がなければ、条例や予算などは法的な効力を生じません。

委員会は、市の事務を効率的かつ専門的に審査するため分野別に分担して議案などを審査し、本会議に報告します。委員会は、本会議の予備審査機関として重要な役割をもっています。

常任委員会

委員会名(定数)	所管事項
総務文教委員会 (8人)	秘書課、政策企画部、総務部、財政部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会に関すること。他の委員会に属さないこと。
産業水道委員会 (7人)	商工観光部、農林部、農業委員会、上下水道局に関すること。
厚生委員会 (7人)	福祉部、福祉事務所、健康こども未来部に関すること。
環境建設委員会 (8人)	市民参加協働部、生活環境部、都市建設部、消防部に関すること。
広報広聴委員会 (9人)	市民意見の集約、議会の活動内容を市民に提供すること及び市民意見の把握に関すること。

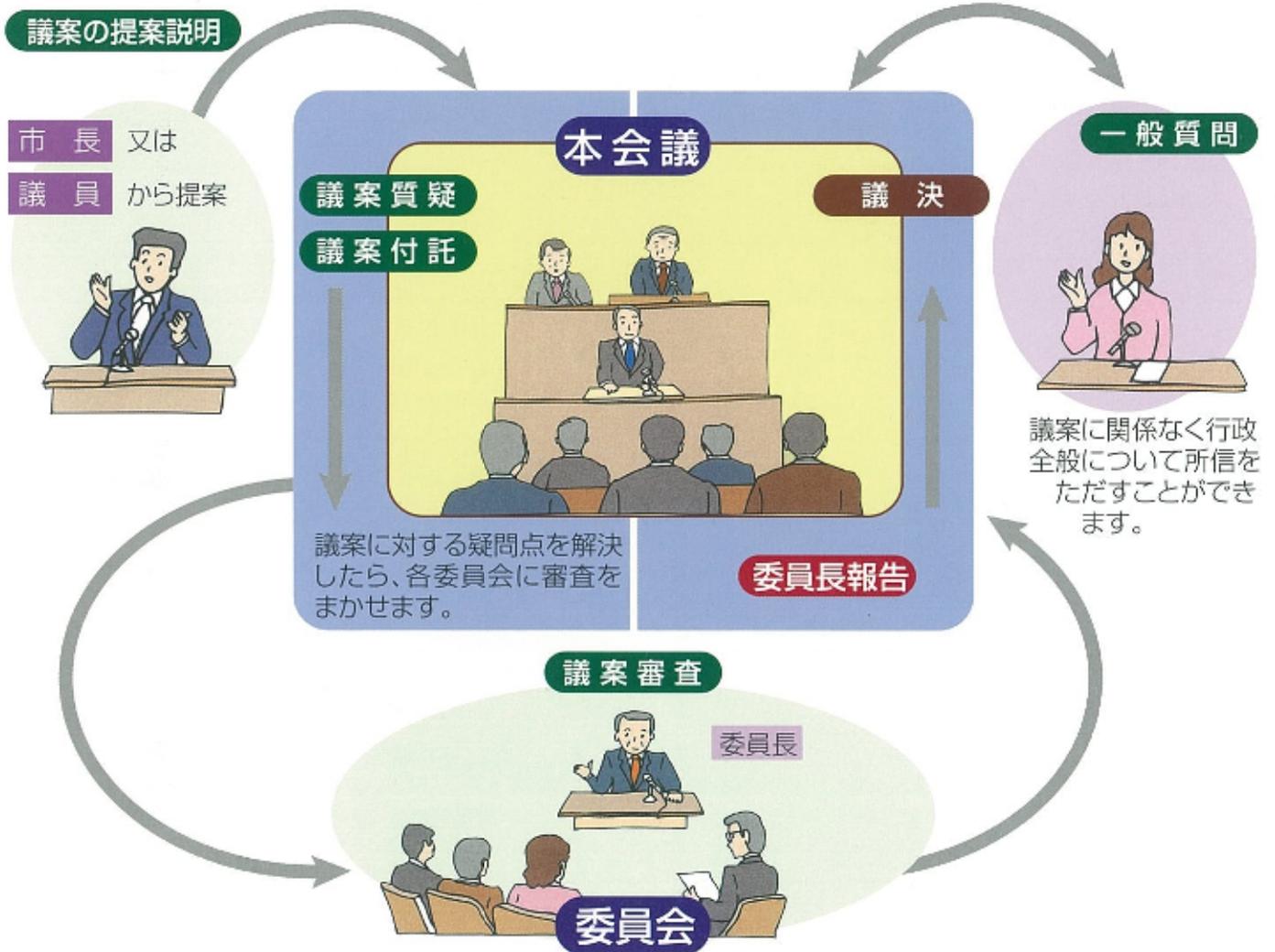
議会運営委員会

議会運営委員会 (8人)	議会の運営、議会の会議規則・委員会に関する条例等及び議長の諮問に関すること。
-----------------	--

特別委員会

	必要に応じて議会の議決により設置されます。議決された特別の事項についてのみ審査し、審査が終了した時点で消滅します。
--	---

議会のすすめ方



請願と陳情

市議会では、市民のみなさんの要望などを請願や陳情という形で受け付けています。

提出された請願や陳情は、内容を審査し、採択(とりあげる)か不採択(とりあげない)かを決定します。紹介議員の必要な請願は、地方自治法に基づき議案と同様に本会議で議決します。陳情は、委員会審査にとどめますが、請願に準じた扱いをしています。

上田市議会議長 様

年月日

提出者 住所・氏名



紹介議員署名・記名



〇〇〇〇〇を求める請願

請願の趣旨

書式例

上田市議会議長 様

年月日

提出者 住所・氏名



〇〇〇〇〇を求める陳情

陳情の趣旨

上田市議会議員名簿

議席	氏名	ふりがな	役職	常任委員会	会派	自治会	自宅電話
1	石合 祐太	いしあい ゆうた		総務文教		大久保	23-3482
2	斉藤 達也	さいとう たつや		産業水道 広報広聴	新生会	材木町	21-7322
3	金井 清一	かない せいいち		産業水道	壮志会	塩田新町	38-0393
4	中村 悠基	なかむら ゆうき		産業水道 広報広聴	上志の風	伊勢山	27-7266
5	松尾 卓	まつお たかし		環境建設	公明党	下本入	85-0747
6	成瀬 拓	なるせ たく		環境建設 ○広報広聴	日本共産党	材木町	27-2771
7	齊藤 加代美	さいとう かよみ		厚生	新生会	海戸	41-1910
8	井澤 毅	いざわ つよし		環境建設	新生会	越戸	31-2123
9	林 和明	はやし かずあき		厚生 広報広聴	新生会	川辺町	27-7772
10	佐藤 論征	さとう のりゆき		総務文教	新生会	真田	72-5666
11	金子 和夫	かねこ かずお		総務文教	新生会	石井	35-0453
12	原 栄一	はら えいいち		○環境建設 広報広聴	壮志会	大屋	35-0147
13	宮下 省二	みやした しょうじ		○総務文教 広報広聴	壮志会	諏訪形	22-6415
14	飯島 伴典	いじま ともり		厚生 広報広聴	上志の風	木町	75-8587
16	金沢 広美	かなざわ ひろみ		産業水道 広報広聴	公明党	岩清水	27-5102
17	古市 順子	ふるいち じゅんこ		○厚生	日本共産党	竹室	72-3261
18	小坂井 二郎	こさかい じろう		産業水道	新生会	中之条	23-2582
19	土屋 勝浩	つちや かつひろ	副議長	厚生	新生会	長島	24-3344
20	松山 賢太郎	まつやま けんたろう		総務文教	新生会	染屋	22-5452
21	西沢 逸郎	にしざわ いつろう		環境建設	新生会	城北	090-2473-1571
22	尾島 勝	おじま まさる	監査委員	環境建設	新生会	久保林	36-2641
23	佐藤 清正	さとう きよまさ		厚生	壮志会	中丸子	42-0784
24	小林 隆利	こばやし たかとし	議長		壮志会	鈴子	38-4185
25	池田 総一郎	いけだ そういちろう		環境建設	上志の風	上本郷	38-2960
26	南波 清吾	なんば せいご		総務文教	上志の風	下室賀	31-3286
27	池上 喜美子	いけがみ きみこ		厚生	公明党	踏入	25-3360
28	半田 大介	はんだ だいすけ		総務文教 広報広聴	公明党	保野	38-0162
29	久保田 由夫	くぼた よしお		総務文教	日本共産党	長瀬中央	42-6361
30	渡辺 正博	わたなべ まさひろ		○産業水道	日本共産党	下之郷	38-4452

は委員長、 は副委員長

会派別議員名簿

会派名	所属議員
新生会	斉藤 達也 齊藤 加代美 井澤 毅 林 和明 佐藤 論征 金子 和夫 小坂井 二郎 土屋 勝浩 松山 賢太郎 ○ 西沢 逸郎 尾島 勝
壮志会	金井 清一 原 栄一 ○ 宮下 省二 佐藤 清正 小林 隆利
上志の風	中村 悠基 飯島 伴典 ○ 池田 総一郎 南波 清吾
公明党	松尾 卓 金沢 広美 ○ 池上 喜美子 半田 大介
日本共産党	成瀬 拓 古市 順子 久保田 由夫 ○ 渡辺 正博
	石合 祐太

は代表、 は代表代理

上田市議会議員名簿

常任委員会委員表

総務文教委員会	委員名	
	石合 祐太	佐藤 論征
	金子 和夫	○ 宮下 省二
	松山 賢太郎	南波 清吾
	半田 大介	久保田 由夫

産業水道委員会	委員名	
	斉藤 達也	金井 清一
	中村 悠基	金沢 広美
	小坂井 二郎	○ 渡辺 正博

厚生委員会	委員名	
	齊藤 加代美	林 和明
	飯島 伴典	○ 古市 順子
	土屋 勝浩	佐藤 清正
	池上 喜美子	

環境建設委員会	委員名	
	松尾 卓	成瀬 拓
	井澤 毅	○ 原 栄一
	西沢 逸郎	尾島 勝
	池田 総一郎	

広報広聴委員会	委員名	
	斉藤 達也	中村 悠基
	○ 成瀬 拓	林 和明
	原 栄一	宮下 省二
	飯島 伴典	金沢 広美
	半田 大介	

は委員長、 は副委員長

議会運営委員会委員表

会派名	委員名
新生会	○ 佐藤 論征 小坂井 二郎 西沢 逸郎
壮志会	原 栄一 宮下 省二
上志の風	池田 総一郎
公明党	池上 喜美子
日本共産党	成瀬 拓

は委員長、 は副委員長

総務文教委員会からの報告

1 総務文教委員会の構成



(左上から) 松山賢太郎委員、南波清吾委員、半田大介委員、久保田由夫委員
石合祐太委員、金子和夫委員長、宮下省二副委員長、佐藤論征委員

2 総務文教委員会の主な仕事

地方創生、シティプロモーション、学園都市、上田市政策研究センターなど政策、
広報、サントミュージゼに関すること
市職員人事管理、防災、条例、情報、行財政改革などに関すること
予算(歳入)・財務、税金、入札・契約、その他に関すること
小・中学校教育、公民館、図書館、文化振興、体育施設などに関すること

3 重点的に取り組んでいる主な活動

- (1) 上田市の重要課題である自主財源の確保や公共施設のあり方、防災等について調査、研究を行っています。
- (2) 教育委員会は、2月に第一・第二学校給食センターの統合方針を見直し、「まずは老朽化が著しい第二学校給食センターの改築に着手する」などとした学校給食運営方針を示したことから、老朽化した厨房設備等の状況を調査するため、4月3日に第二学校給食センターの現地視察を行いました。その後、教育委員会から「早期改築に向け、建設候補地選定に取り組んでいる」との報告がありましたので、今後は学校給食運営に関する内容や予算について審査をしていきます。
- (3) 今年度の「テーマ別車座集会」は、「公民館活動」をテーマとし、11月1日(金)に上野が丘公民館で開催いたします。当日は、公民館運営審議会委員の皆さんなどと「特色ある公民館活動」や「改善が必要と感じていること」について意見交換を

行いますので、現状や課題等を把握するとともに、いただいたご意見などを今後
に生かしてまいります。

(4) 上田市に提出した総務文教委員会関係の附帯意見

平成29年度一般会計決算に付した附帯意見と市の取り組み結果

附帯意見	市の取り組み(結果)
自主財源確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ・未申告者に対する催告等を実施し、申告を受理 ・遊休財産や未利用資産について、売却や貸し付けを実施
保育料や住宅使用料 など税外収入の収納 対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に業務担当課ごとに収納方針、重点対策等を策定し 収納推進本部会議で協議の上、収納対策を実施 ・業務担当課と収納管理課との連携強化
地方創生推進交付金 事業の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察による評価の導入 ・交付金終了後の事業のあり方等の検討

平成30年度一般会計決算に付した附帯意見

- ・公平・公正な税務行政の確保
- ・公共施設マネジメントの推進
- ・地方創生推進交付金を活用した事業を継続するための指導・助言

(5) 行政視察

視察地	時期	視察項目
埼玉県戸田市	R元.7.8	・戸田市政策研究所の取り組みについて
静岡県袋井市	R元.7.9	<ul style="list-style-type: none"> ・袋井市小中一貫教育基本方針について ・幼小中一貫教育について ・幼小中つながる通信について
兵庫県明石市	R元.7.10	・公共施設配置適正化の取り組みについて

(6) 懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
公立大学法人 長野大学	H31.1.22	・平成29年度業務実績評価について
上田市防災支援 協会	H31.2.15	・防災支援協会の現状等について

(7) 所管事務調査

調査事項	時期	担当課
第二学校給食センターについて (施設現地視察)	H31.4.3	教育総務課、第二学校給食セン ター

産業水道委員会からの報告

1 産業水道委員会の構成



(左上から) 金井清一委員、中村悠基委員、小坂井二郎委員
斉藤達也委員、金沢広美委員長、渡辺正博副委員長

2 産業水道委員会の主な仕事

工業・商業・観光業・農業・林業・林産業等の地元産業振興と労働行政に関する全般
上水道・下水道・農業集落排水事業に関する全般

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 中心市街地・地域産業の活性化

平成30年度のテーマ別車座集会では、「中心商店街の活性化」について中心商店街の事業者の皆様などと意見交換を行いました。その中でも特に重要と捉えた意見について、現状把握及び市との課題共有を図るため、商工観光部と意見交換を行いました。今後も中心商店街の皆様の声をお聞きし、連携をしていきます。

地域産業の活性化に向けた取り組みについては、事業者の売り上げ向上や起業等に関する支援を行っている静岡県熱海市の「A-b i z (熱海市チャレンジ応援センター)」の取り組みを調査・研究するため行政視察を行いましたので、今後の活動に活かしてまいります。

(2) 農業・林業・林産業の活性化に向けた調査・研究

農業振興に向けた取り組みの一環として11月6日(水)に開催するテーマ別車座集会では、「語ろう!私とあなたの未来の農業」をテーマに農業に携わる皆様などと意見交換を実施する予定です。実際に農業に従事している皆様などからいただいたご意見は、今後の活動に活かしてまいります。

農業や林業の活性化のためには、付加価値のある商品を生み出すことが重要であることから、農薬や化学肥料等を使用せず農作物を栽培する「自然栽培」を実施し、農産物のブランド化を図っている石川県羽咋市の取り組みについて行政視察を行いました。加えて、6次産業化や農商工連携に関する取り組みについても調査・研究を行ってまいります。

伐採期を迎えているカラマツの有効活用支援や松くい虫防除の有効な方策についても調査・研究を行ってまいります。

(3) 観光振興策の調査・研究

市では、「信州上田」を国内に向けてPRする活動に加えて、海外でプロモーションを実施するなどインバウンド（外国人観光客の誘致）施策にも取り組み、外国人観光客の増加も目指していることから、当委員会としても観光誘客の取り組みや観光産業の振興、インバウンドについて調査・研究を行ってまいります。

(4) 上下水道事業の審査・確認

老朽管の計画的な更新、つちや水源を活用した安全・安心な水の確保について審査と確認を行うとともに、情報発信にも努めてまいります。

(5) 行政視察

視察地	時期	視察項目
秩父広域市町村圏組合	R元.7.10	水道事業における広域化について
静岡県熱海市	R元.7.11	A-bizについて
石川県羽咋市	R元.7.12	羽咋式自然栽培について

(6) 主な懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
市内3商工団体商業担当部会	H30.11.13	地域商業振興について

厚生委員会からの報告

1 厚生委員会の構成



(左上から) 土屋勝浩委員、佐藤清正委員、池上喜美子委員
齊藤加代美委員、林和明委員長、古市順子副委員長、飯島伴典委員

2 厚生委員会の主な仕事

福祉、高齢者介護、国保年金に関すること
健康推進、保育園、幼稚園、子育てに関すること
上田市立産婦人科病院に関すること

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 地域医療体制の整備

- ・ 信州上田医療センターが厚生労働省から「地域がん診療病院」に指定されたところですが、今後も信州上田医療センターを中核とした地域医療体制づくりの取り組みを検証し、必要な提言をしてまいります。
- ・ 上田市立産婦人科病院は、公立病院の持続可能な経営と長野県が策定する地域医療構想に即した医療提供体制を確保するために「上田市立産婦人科病院新改革プラン」を平成28年度から令和2年度までの計画として策定しました。このプランに沿った安定経営への取り組み状況を検証してまいります。

(2) 介護予防と福祉の充実

- ・ 今年度から生活支援・介護予防サービスの多様化を進めるため、住民等が主体となった団体に対し、活動補助を行うことになりました。また、昨年は3地区のモデル事業だった生活支援体制整備事業が今年9月から市内全地区に広がります。これらの取り組みを注視するとともに、介護予防事業の一層の充実について調査研究を進めてまいります。

- ・ 今年度、「生きづらさを抱えている人達を支援するために」をテーマとした車座集會を予定しており、当日は市民の皆さんのほか関係団体の皆さんとの意見交換を行います。いただいたご意見などは、今後の調査研究に生かしてまいります。

(3) 子ども・子育て支援

- ・ 幼児教育・保育の無償化に伴う議案では、活発な質疑による審査を行いました。また、保育施設の状況を把握するために、老朽化が進む北保育園の視察を行いました。今後も施設整備をはじめとした様々な市の子育て支援への取り組みについて注視してまいります。

(4) 健康づくり事業の推進

- ・ 市では「健幸都市」の実現を目指し、「健康幸せづくりプロジェクト事業」を実施しています。こうした中、厚生委員会でも健康づくり事業について調査、視察を行い事業のさらなる充実に向け、健幸都市の実現をテーマとして政策討論を行ってまいります。
- ・ 今年運用開始したスマートフォン向けアプリケーション「うえいく」の効果について注視していくとともに、このような新しい仕組みから市民一人一人が健康について意識付けをしていく取り組みを提案していきたいと思えます。

(5) 行政視察

視察地	時期	視察項目
新潟県新潟市	R元.7.9	・障がい者就業支援センター こあサポート
福島県会津若松市	R元.7.10	・障がい者の就労支援について ・高齢者福祉サービスについて
宮城県仙台市	R元.7.11	・子どもの貧困対策について

(6) 主な懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
上田市私立保育園・認定こども園協会	H30.10.30	子ども・子育て支援制度について
上田市医師会	H30.11.9	上田市の医療体制について

(7) 所管事務調査

調査事項	時期	担当課等
老朽化が進む北保育園について	R1.8.2	保育課（北保育園）
施設の概要、活動内容について	R1.8.2	うえだみなみ乳児院

環境建設委員会からの報告

1 環境建設委員会の構成



(左上から) 西沢逸郎委員、尾島勝委員、池田総一郎委員
成瀬拓委員、松尾卓委員長、原栄一副委員長、井澤毅委員

2 環境建設委員会の主な仕事

戸籍、マイナンバー、自治会、市民協働、地域協議会、地域自治組織、人権男女
共同参画、ふるさと寄付金、結婚支援、移住に関すること
環境衛生、新エネルギー、ごみ処理、空き家対策、市営住宅に関すること
道路、水路、公園、都市計画、公共交通に関すること
常備消防、非常備消防、消防施設、水防に関すること

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 上田市では「運賃低減バス実証運行」を令和元年9月末までの予定としていたことから、昨年9月議会では運賃低減バスの継続、地域交通の利便性向上、高齢者や障がい者に配慮した移動手段の確保について検討を要請する附帯意見を提出しました。また、今年度から市議会で行われる政策討論会のテーマとして地域交通を提案しました。当委員会としてもさらに委員間討議を行い、議論を深めてまいります。

7月には交通関連の視察として、立地適正化計画と交通体系との関係やまちづくりを学ぶため、先進地視察を行いました。

(2) 市内において災害の発生や市民の生命・財産を脅かす可能性のある危険な場所等への太陽光発電設備の設置が危惧される中、当委員会として太陽光発電施設の適正管理が可能となる取り組みを国に求める意見書を作成し、国に提出しました。また市には「上田市太陽光発電設備の設置に関する指導要綱」及び「太陽光発電施設の適正導入ガイドライン」を基に条例制定を進めるよう提言しました。

(3) 資源循環型社会を目指すうえで、ごみ減量化は上田市にとって大きな課題であります。これまでの様々なごみ減量化の取り組みを検証するとともに、生ごみのリサイクルに取り組んでいる近隣の自治体を視察しました。

また、エネルギーの地産地消について、バイオマス資源を活用し、熱利用するためバイオマスチップボイラーを導入した施設を視察しました。上田市の公共施設等への導入についてさらに研究してまいります。

(4) 今年度の市組織改正により、空家の適正管理の分野に加え、空き家情報バンク事業など利活用の分野があらたに当委員会の所管となりました。市が策定する空家等対策計画や物件の対象を拡大した空家バンクの取り組みが市民の安心安全につながるよう、今後の取り組みを注視してまいります。

(5) 上田市独自の消防団員応援事業は全消防団員に配布される市内温泉入浴施設の入館料補助券の利用方法が簡素化されるとともに、入館料が全額補助されるなど利便性の向上が図られました。これらが入館料補助券の利用率向上につながっているかを検証するとともに、消防団員の声をお聞きし、さらなる消防団員の処遇改善に向け、研究してまいります。

また今後、様々な自主防災等の組織と消防団がさらに連携を深めることが必要であり、地域に密着した消防団活動のあり方や課題などについて、調査・研究を進めてまいります。

(6) 所管事務調査

視察地	時期	視察項目
東御市	R元.7.23	生ごみリサイクル施設「エコクリーンとうみ」
佐久市 佐久総合病院	R元.7.23	チップボイラ 導入による熱利用

(7) 行政視察

視察地	時期	視察項目
埼玉県川口市	R元.7.9	所有者不明等の空き家の解消に向けた取り組み
滋賀県草津市	R元.7.10	地域ぐるみの住民自治組織「まちづくり協議会」の取り組み
富山県富山市	R元.7.11	都市整備事業(コンパクトシティと立地適正化計画)エコタウン交流推進センター

広報広聴委員会からの報告

1 広報広聴委員会の構成



(左上から)

林和明委員、原栄一委員、宮下省二委員、飯島伴典委員、金沢広美委員
齊藤達也委員、半田大介委員長、成瀬拓副委員長、中村悠基委員

2 広報広聴委員会の主な仕事

市民意見や要望等を集約し市政課題及び議会への意見を取りまとめ、議会活動に活かす（議会報告会・テーマ別車座集会の開催等）

議会の活動等を広く知らせること、市民との情報共通のための広報活動（上田市議会だよりの発行、インターネットSNSツイッター、フェイスブック等による情報発信、議場見学会、議会出前授業の開催）

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 議会だよりの紙面の見直しと充実

紙面の全面リニューアル

令和元年8月16日発行の議会だよりに紙面の全面リニューアルを行いました。今後も読みやすい文字の大きさ、わかりやすい紙面となるよう工夫をしていきます。

表紙写真・デザインコンテスト

表紙を飾る写真・デザインを本年1月から募集コンテストを開催しました。62点（写真46点、イラスト16点）の応募を頂き、大賞ほか6点を選び、3月に表彰式を開催しました。受賞作は8月号の表紙から順次、掲載されています。

賛否の分かれた議案等について、各議員の態度、討論を掲載

本会議において賛成反対の分かれた議案等に関して、議員個人が示した賛成反対の

結果と賛成反対討論の概要を掲載しています。

(2) 議会報告会・車座集会

今年度は市内の各種団体からの希望に応じ、地元に向い開催する出前議会報告会の回数を増やしています。市民団体や大学からも申し込みを頂いております。

議会報告会で皆様から頂いた市政の課題について、今年度からはじまった議員問討議のテーマとして検討できるよう提言を行い実施されています。

(3) 議場見学会

予約制ですが水曜日に本庁舎6階の市議会議場見学会を開催しています。

8月7日は学校の夏休みを利用した小中学生とその家族向けの見学会を開催いたしました。市議会をもっと身近に感じて頂きたいと企画しています。

(4) インターネットを活用した情報発信

スマートフォン、パソコンからも読みやすい議会だよりインターネット上から全国の広報誌を読みやすいように表示するアプリ「マチイロ」に登録しています。

インターネットSNS（交流サイト）のツイッター、フェイスブックの上田市議会のページで議会の活動を情報発信しています。

本会議等のインターネット中継及び録画放送実施の取り組みの早期実施。

(5) 議会サポーター導入に関する調査・研究

市民の皆様から議会だより、議会傍聴などを通じて議会にご意見やご提案を頂くサポーター制度の導入について調査・研究を行います。



ios 版



Android 版



Facebook



Twitter



(6) 行政視察

視察地	時期	視察項目
広島県呉市議会	R元.7.29	・議会報告会、・議事堂探訪ツアー ・呉市議会だより「チーム議会くれ」
山口県 山陽小野田市議会	R元.7.30	・市議会カフェ・市議会モニター制度について
大分県別府市議会	R元.7.31	・市民と議会との対話集会について

議会運営委員会からの報告

1 議会運営委員会の構成



(左上から) 小坂井二郎委員 西沢逸郎委員 原栄一委員 池上喜美子委員
成瀬拓委員 池田総一郎委員長 佐藤論征副委員長 宮下省二委員

2 議会運営委員会の主な仕事

地方自治法に基づき、議会運営を円滑にするための協議、意見調整を行います。
議会改革に関する事項を調査研究し、実践に移して行きます。
議長から諮問を受けた事項に関して調査並びに審査を行います。

3 重点的に取り組んでいる主な活動

- (1) 予算に関する委員会審査の見直しを行っています。上田市議会では一般会計予算の審査方法が、現行では4つの常任委員会への分割付託となっております。これは「議案不可分の原則」から外れた運用となっているため、議案の一体的審査を行えるよう「一般会計予算特別委員会」の設置を目指して検討を進めています。今年度末に議長に答申し、今後、本委員会に向けて制度設計を進めてまいります。
- (2) 平成26年4月に施行された上田市議会基本条例が条例施行から4年が経過しました。本条例の目的が達成されているかどうかを検証し、必要な見直しを行う時期になっています。これにつきましては、今年度内に検証を重ね、年度末には議長に対して答申する予定です。
- (3) これまで約3年にわたり、各常任委員会において請願や陳情にかかる委員間討議が実施されてきました。今年度はこれを議員間討議に拡大させようということで、9月30日に初めての政策討論会を行いました。各議員間の自由闊達な議論を行い、

議会全体としての合意形成を行ったうえで、行政に政策提言していきたいというものです。今年度は厚生委員会から発議された「健幸都市の実現」、環境建設委員会から発議された「地域交通」という2つのテーマを議論してまいります。

(4) 行政視察

視察地	時期	視察項目
神奈川県横須賀市	R1.11.13	予算決算常任委員会の設置事例を視察
静岡県掛川市	R1.11.14	議員による政策討論会の先進事例を視察

平成30年12月議会以降の請願・陳情の審査状況

請願

年	議会	件名	提出者	付託先	審査結果
31	3月	後期高齢者医療費窓口負担の原則2割化に反対する請願	東信医療生活協同組合 理事長 西澤弘行 氏 ほか5人	厚生	不採択
31	3月	上田市が発注する印刷物に関する請願	上田印刷工業組合 組合長 田口敬祐 氏	総務文教	取り下げ 承認
R1	9月	上田市が発注する印刷物に関する請願	上田印刷工業組合 組合長 田口敬祐 氏	総務文教	

陳情

年	議会	件名	提出者	付託先	審査結果
30	12月	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する陳情	上田市教職員組合 執行委員長 小池広志 氏	総務文教	不採択
30	12月	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 小池広志 氏	総務文教	不採択
30	12月	資源循環型施設建設に関する陳情	茅野孝雄 氏ほか2人	環境建設	不採択
30	12月	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子 氏	厚生	不採択
R1	6月	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 高木義隆 氏	総務文教	不採択
R1	6月	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 高木義隆 氏	総務文教	不採択
R1	6月	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 高木義隆 氏	総務文教	不採択
R1	6月	「最低賃金の改善と中小・零細企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情	上小労働組合総連合 議長 花岡秀樹 氏	産業水道	不採択

平成30年度議会報告会でのご意見等

昨年、各会場にていただいたご意見のうち、会場でお答えできなかった項目について掲載しました。この他いただいたご意見等は、議会内で整理し、市側へ伝えるべき項目については、議長名で市側に伝えています。

会場	項目（内容）	対応等
サントミューゼ	<p>平成29年度の議会報告会の意見の中で「新屋自治会館の耐震化」とあったが、防災の面から全自治会館と捉えてほしい。</p> <p>西部まちづくり協議会に対する市からの補助金について、今年度は余ることが見込まれるので、市に返還しなければいけない。今後の協議会の計画を考えれば、数年先を見据えて、残金の繰り越しを認めてほしい。</p>	<p>住民自治組織の交付金は、組織設立後から地域まちづくり計画が策定され、運営が定着化するまでの間の支援を目的として交付されています。</p> <p>組織の活動が本格化してくることに伴いまして活動資金が不足することが想定され、現在新たな交付金制度の算定ルールや交付金の総額などの具体的な内容について市で検討中です。</p> <p>具体的な事業等を実施する目的がある場合の基金制度については、住民自治組織のご意見もお聞きしながら検討を行う必要があるとの意見を市側へ伝えました。</p>
上野が丘	<p>富士見台の自治会長を3年つとめ、今の課題は「通院難民を出さない」こととして活動をしているが、なんとも解決策が見えてこない。</p> <p>高齢者の免許の返納や、市のオレンジバスが週2回しか来ないことから、通院でタクシー代一人6000円かかる場合もある。</p> <p>ボランティアによる車での送迎は保障上問題がある。どうにか通院難民を出さない仕組みが欲しい。佐久のデマンド交通を参考にしてほしい。</p>	<p>運賃低減バスの継続、高齢者や障がい者に配慮した交通体系構築に向けた方針を示すこと等を要請する一般会計決算認定に関する附帯意見を市に提出しました。今後の取り組みを引き続き注視します。</p> <p>また、今年度の政策討論会において、公共交通について地域のご意見を踏まえて議論を進めていきます。</p> <p>各種路線バスやオレンジバス等について、料金、運行エリア等について公平性に欠けると市民から指摘があります。</p> <p>デマンド交通については、これまでも先進地視察を行い研究してきました。今後も他市の良いところは工夫して上田市に取り入れていけるよう、地域交通について研究・議論をしてまいります。</p>

会場	項目（内容）	対応等
塩田	<p>市の予算に関する資料を見ても収支などの状況がわからないので、わかりやすい内容にしてほしい。</p> <p>例えば「サントミュージゼにおける年間の維持管理費や収支」をわかりやすく掲載することはできないか。</p>	<p>予算に関する資料には、施設ごとの収支状況などを掲載していないことからわかりづらい状況にあります。このため、市の担当課に対し、いただいたご意見を伝えました。</p>
塩田	<p>産業水道委員会の報告には「知名度の向上と観光客数の増加を目指している」とあるが、経営指標の観点では儲かる仕組みが大切になることから、その視点を持って取り組んでほしい。</p> <p>大河ドラマ「真田丸」の放送に伴い観光客は多く来たが、儲かる仕組みができていなかったとするならば考える必要がある。</p> <p>平成30年9月定例会ではDMOに関する一般質問があった。</p> <p>「いかにお金を使っていただくか」についてどのように考えているか。</p>	<p>信州上田観光協会では、事務局長の専任配置やインバウンド部会などを設け事業者へメリットをもたらす仕組み作りに着手するなど体制強化を進めています。特に、線から面に広がる旅行商品の造成に取り組んでいます。</p> <p>温泉地の活性化に向けては、空き店舗・空き家対策の補助制度を新設するなど、移住者増加や観光客の回遊スポットの創出を行っています。また、本年から地域おこし企業人が着任しており、民間の柔軟な発想や経験などを活かした取り組みを行っています。</p> <p>インバウンドの推進において、しなの鉄道沿線自治体との広域連携を強化し誘客に取り組む中、インバウンドに特化した自治体連携によるDMOの組織化に向けた検討を始めており、地域として経済効果を上げることのできる施策展開を行っていくとのことです。</p>
塩田	<p>松くい虫防除対策は国の施策どおりに行うのではなく、科学的なアプローチをするなどして研究をしてほしい。</p>	<p>松枯れの原因は松くい虫被害によりますが、大気汚染や酸性雨、山の手入れ不足といったことも考えられることから、市単独でこれらを研究するのは難しい面があるため、関係機関に多角的な視点から研究を行っていただくよう、市から要望していくとのことです。</p>

会場	項目（内容）	対応等
十人	<p>運賃低減バスの拡大をしてほしい。運転免許証返納者の交通手段は公共交通が中心であることから、公的な支援を検討してほしい。</p>	<p>路線バス乗務員の人手不足等の要因により、運賃低減バス路線の拡大は難しい状況です。</p> <p>運賃低減バスの継続、高齢者や障がい者に配慮した交通体系構築に向けた方針を示すこと等を要請する一般会計決算認定に関する附帯意見を市に提出しました。今後の取り組みを引き続き注視します。</p> <p>また、今年度の政策討論会において、公共交通について地域のご意見を踏まえて議論を進めていきます。</p>
丸子	<p>高校改革のもとに、生徒、地域住民の意見も聞かないまま、望月高校はサテライト高校(通信校)になってしまう。</p> <p>そこで、塩川小学校の児童数減少にあたり統合になるのではないかと心配している。見直しをお聞きしたい。</p>	<p>塩川小学校を所管する教育委員会では、「他校との早急な統合は考えていない」との方針であることから、現在、統合に向けた計画等はありません。</p>
丸子	<p>長野県では、信州やまほいく(信州型自然保育)を進めようとしている。</p> <p>自然に触れさせ子ども達に体験させる信州らしい保育であるが、上田市はどのように考えているか。</p>	<p>担当課に確認しましたところ、自然保育は子どもたちの健やかな育ちにとって有用な保育であり、やまほいくの活動は、正に自然の中における実体験として記憶に残る活動になると考えていることから、今後も自然との関わりを大切に保育にあたっていきたいとの回答がありました。</p>
丸子	<p>政策討論会についての提案。</p> <p>健幸都市の実現がブランドとなる。厚生、産業水道員会等の枠組みではなく、横串の組織体制で、健幸都市の実現を議員間で研究し、上田の強みとしてブランド化してほしい。例えば、子どものうちからスポーツをする大切さなどを伝え、将来の健康の体へと導くなど。</p>	<p>ご提案ありがとうございます。ご提案いただいた内容については、本年度から開始する政策討論会のテーマとして議員間討議を行っていきます。</p>

会場	項目（内容）	対応等
丸子	<p>ごみ問題について、資源循環型社会を目指しているが、プラごみを分別しないといけないが周知が全く足りない。</p> <p>資源循環型施設についても、市民と行政と事業者の情報共有が大事。市民、女性の皆さんとごみを減少するための、市民、行政、事業者の意見交換を進める必要がある。</p> <p>平成30年の上田市のプラごみの判定はD判定だった。ごみの分別を高いところからただやれというのではなく、なぜごみの分別が必要なのか、理屈、効果を含めて一緒に考えていかないと、効果はあがらない。</p> <p>生ごみをたい肥センターで処理することにより、肥料へと循環する。このような循環型社会の構築の仕組みを伝え、循環型社会ともしっかり見える化し、主体的に考える機会をもつべき。ごみ減量アドバイザーの活躍が期待される。</p>	<p>貴重なご意見は担当課にお伝えいたしました。</p> <p>現在、高齢者からはごみ出しや分別ができなくなってきたとの声もあり、課題となっています。</p> <p>今年度、新たに生ごみリサイクル研究委員会が発足したので、ご指摘の課題について議論していただくことを期待しています。</p>
丸子	<p>生ごみの堆肥化勉強会で18年間活動し、広報に掲載し、生ごみの処理の基本的勉強会、体験会も主催してきた。まずはご自分でできるようになることを目標にして活動している。</p> <p>ぼかしを欲しい方すべてに分けることができず、35名が限界。科学物質を使わない事を勧めている。</p> <p>EMは匂いがあまりない。家庭でのたい肥化に適している事を市民の皆さんにも勉強していただきたい。</p>	<p>地域のため、住民のために長い間、活動されていることに感謝申し上げます。市には広報紙やごみ分別アプリ3Rを含め、PR効果の高い手法を用いることを検討するよう、申し入れしました。</p>

